



## 情報検索委員会（委員数 54名／担当理事：別宮副理事長）

### ◆ 活動方針：

- 国際競争力強化に向けた情報調査力の向上
  - ✓ 事業推進へのお役立ち
- 経営に資する情報解析力の向上
  - ✓ 事業戦略へのお役立ち
- 国内外の特許情報施策への提言
  - ✓ 各特許庁、政府機関への提言

### ◆ 年間スケジュール

月	内容
4月	全体会議
8月	中間報告会
10月	小委員会合宿
	欧州訪問代表団派遣
2月	成果報告会
	JIPAシンポジウム
3月	知財管理誌、別冊資料発行（冊子、CD-ROM）の入稿準備完了





# テーマと編成

## 第1小委員会

特許情報の  
活用

第1WG 開放特許DBに関する研究 7名

小委員長：金子 浩之

- ・あらゆる国、企業、団体が運営している開放特許に関するデータベースの実態を調査
- ・開放特許に関するデータベースを活用した、協創候補企業の調査・分析方法を検討

第2WG SEPに関する研究 6名

WGリーダー：垣津 晴彦

- ・SEP情報の調査方法を、代表的な標準規格毎で体系的に整理
- ・SEP情報の活用方法を、過去の事例も参考にしながら研究

## 第2小委員会

新技術の  
活用

第1WG AI等を活用した特許調査に関する研究 7名

小委員長：青山 裕樹

AI等を用いた各種ツールについて、特許調査の効率化の観点で比較検証を行う

第2WG 知財業務とAI活用に関する研究 6名

WGリーダー：和田 学

情報検索の新技術を取り入れ、知財の定型業務の効率化を目指す

## 第3小委員会

経営・事業  
貢献

IPランドスケープに関する研究 13名

小委員長：佐々木 俊輔

IP Landscapeを社内で有効活用する上での問題点・課題を明らかにし、その対応策を探求する

## 第4小委員会

必要スキル  
・特許分類

第1WG 知財情報人材に関する研究 7名

小委員長：吉村 裕子

環境変化なども踏まえつつ、今後の知財情報人材の在り方を考える

第2WG 特許分類に関する研究 6名

WGリーダー：高橋 祐二

国内外における特許分類付与・検索手法の状況を把握するとともに、各課題解決につなげる





## 欧州訪問代表団

PDG 78st PDG IMACT Meeting

- ◆ 日程: 2019.10.17 ~18
- ◆ 場所: ベルギー モルツェル
- ◆ 参加者: EPO、WIPO、各国特許庁、欧州企業、ベンダー等
- ◆ JIPAからの提言
  - ✓ 世界的に統一した見解が未確立なIoT関連技術の特許分類について下記提言を行う。
    1. IoT関連技術の特許分類の分類付与対象技術の提案
    2. 提案するIoT分類付与対象技術に基づきIoT関連技術特許分類の過去遡及可能性が見出されたこと
    3. 検索性に優れたIoT特許分類構造の提案





## 関係官庁との意見交換

- 7月22日 特許庁の特許情報提供・機械翻訳サービスについてのヒアリング  
特許庁総務部総務課特許情報室  
古田室長  
岡澤室長補佐  
松谷室長補佐  
西村係長  
根内様  
・機械翻訳、J-PlatPat、API開放、知財を一元化できるウェブサイトについてヒアリングを受けた。  
・情報システム委員会と共同で対応した。
- 8月9日 特許庁意見交換会（ZIT広域ファセットについて、PDG発表内容の整合）  
特許庁第一部調整課長補佐 特許分類企画班長  
内藤 康彰 様  
特許庁 審査第一部 調整課 審査企画室 特許分類企画班  
分類企画係長  
森川 能匡 様  
G16Yについて質疑応答、昨年度研究成果の紹介、PDG発表案の整合